

管理運営状況等評価票

施設名	素波里ふるさと自然公園センター		
指定管理者	藤里町		
作成者	加藤 治門	作成日	令和4年5月1日
確認者	生活環境部 自然保護	課	調整・自然環境 班
職氏名	主事 田口 瑞樹	TEL	018-860-1614

1 施設の概要

設置年	昭和 58 年	営業期間・時間	4月17日～11月7日 午前9時～午後5時			
設置目的	自然公園の利用の増進を図り、県民の心身の健全な発達に寄与することを目的として設置。素波里国民休養地内に位置し、地域の自然について映像や展示品で紹介。					
指定管理業務の内容	(1)施設及び設備の維持管理に関する業務 (2)秋田県素波里ふるさと自然公園センターの管理に関し知事が必要と認める業務					
自主事業の実施状況	施設の周辺清掃。					
直近3年の年間利用者数	R1	3,290 人	R2	2,664 人	R3	7,386 人
直近3年の年間料金収入	R1	千円	R2	千円	R3	千円
直近5年の収支決算(単位:千円)		H29	H30	R1	R2	R3
収入計		294	388	412	561	330
(内訳)利用料収入						
指定管理料						
その他収入		294	388	412	561	330
支出計		294	388	412	561	330
(内訳)人件費		200	201	204	192	168
人件費以外		94	187	208	369	162
差引						

2 観点ごとの評価

(観点Ⅰ)利用目標の達成状況					
	利用目標指標名	利用者数	定義	施設利用者実数	
		R2		R3	R3-R2
	目 標	3,300		3,400	100
	実 績	2,664		7,386	4,722
	達 成 率	80.7%		217.2%	
実績等の増減原因	利用者数	277.3%	R2年に当センターをリニューアルしたことによる集客や、コロナ禍による密にならない屋外での活動が増え、素波里園地全体の来客が多かったことなどが増加の要因に挙げられる。		
	料金収入				
	令和4年度利用目標設定の考え方	引き続き、白神山地を含めた周辺の情報提供を展開しつつ、ウィズコロナの観点から自然の中でのワーケーションの利用向上を図り、また、園地での各イベント等が開催予定にあることから、来客増加が期待されるため、前年度実績の1割増を見込む。			評価欄
					A

○「利用目標設定の考え方」には、目標設定の参考にした指標(過去の伸び率や前年度数値、類似施設数値等)を具体的に記載すること。

○「評価欄」には、目標値に対する達成率について次の基準により判定した評価を記載すること。

A:100%以上 B:80%以上100%未満 C:80%未満

(観点Ⅱ)利用者満足度の状況				
利用者満足度の状況	R1	R2	R3	R3-R2
	70.0	100.0	100.0	0.0
利用者アンケート調査結果の活用例	指定管理者によるセンターの運営方針の参考としている。			評価欄
				A

○「評価欄」には、満足度について次の基準により判定した評価を記載すること。

A:80%以上 B:60%以上80%未満 C:60%未満

評価項目	指定管理者 1次評価欄	所管課 2次評価欄
(観点Ⅲ)管理運営体制の状況	A	A
①有資格者を含む職員配置状況は適切か	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●事業計画書等に照らして適切な職員配置になっている。(5点) ●受付担当者が不在にならないなど利用者に迷惑がかからない配置になっている。(5点) 		
②職員の勤務実績は適切か	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●事業計画書等に照らして適切な勤務実績になっている。(5点) ●各職員が、他の職員の業務状況を把握し手伝えるような工夫をしている。(5点) 		
③職員の処遇等は適切か	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●職員の処遇が労働法規に反していない。(5点) ●職員に対する何らかの福利厚生事業が行われている。(5点) 		
④施設・設備は適切に管理されているか	10	5
<ul style="list-style-type: none"> ●事業計画書等の日常保守管理、定期点検、清掃、警備等の計画に照らして適切に管理されている。(5点) ●施設・設備に目に見える損傷、汚れ等がない。(5点) 		
⑤備品は適切に管理されているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●備品台帳に記載されている備品が全て揃っている。(5点) ●備品に目に見える損傷等がない。(5点) 		
⑥個人情報の保護に対する体制の構築が成されているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●「個人情報取扱特記事項」が全て遵守されている。(5点) ●職員に対し個人情報保護に関する理解の向上を図っている。(5点) 		
⑦安全で安心できる環境を確保しているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●事故防止マニュアル等及び緊急時連絡体制を整備している。(5点) ●職員に対し、研修の実施等の事故防止に関する理解の向上を図っている。(5点) 		
⑧経費節減のための努力を行い、成果を上げているか	10	5
<ul style="list-style-type: none"> ●前年度よりも事務経費を節減する取り組みをしている。(5点) ●実際に経費節減の成果を挙げている。(5点) 		
⑨計画的な修繕等がなされているか	5	5
<ul style="list-style-type: none"> ●施設・設備の修繕に関する年度計画が存在する。(5点) ●利用者が常に安全に利用できる状態に保たれている。(5点) 		
⑩健全な経営がなされているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●経理書類が適切に作成され、通帳や印鑑などが適切に管理されている。(5点) ●選定時の各財務指標と比較し、特段の経営の悪化が見られない。(5点) 		

○各評価項目の評価欄には、合致する設問の合計点を記載すること。

○最上段の評価欄には、評価項目ごとの点数の平均値について次の基準により判定した評価を記載すること。ただし、0点の評価項目がある場合は、平均値が8点以上であったときでもB判定とすること。

A:8点以上 B:5点以上8点未満 C:5点未満

評価項目		指定管理者 1次評価欄	所管課 2次評価欄
(観点Ⅳ)サービス向上に向けた取組の実施状況		A	A
①開館日、開館時間等は守られているか		10	10
●仕様書又は事業計画書等に照らして適切な開館状況になっている。(10点)			
②事業計画に掲げられた業務は適正に実施されているか		10	10
●仕様書又は事業計画書等に照らして適正に業務が実施されている。(10点)			
③施設の使用許可、料金減免の手続、説明は適正か		10	10
●料金減免の説明が分かりやすく掲示されている。(5点)			
●仕様書又は事業計画書等に照らして適正に使用許可されている。(5点)			
④職員の接客マナーは適切か		10	10
●全職員が名札を着用し適切な服装をしている。(5点)			
●施設名と対応者名を名乗った電話対応など丁寧な挨拶や対応がなされている。(5点)			
⑤利用者が利用しやすい窓口案内を実施しているか		5	5
●電話やWebサイト等による利用相談がなされている。(5点)			
●来客への対応に関する研修がなされている。(5点)			
⑥全ての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう情報発信を行っているか		10	5
●分かりやすいパンフレットの備え付けや、見学希望への対応などに取り組んでいる。(5点)			
●指定管理者名称、指定期間、業務概要等を利用者に周知している。(5点)			
⑦潜在的な利用者へ向けた広報を実施しているか		10	10
●広報誌発行、県・市町村広報への登載、Webサイト作成、チラシ配布等の広報を実施している。(10点)			
⑧満足度調査の結果、課題がある場合に対応策を講じているか		10	10
●満足度調査から課題を抽出して対応策を講じている。(5点)			
●満足度調査結果及び課題への対応策を公表している。(5点)			
⑨利用者が意見や苦情を述べやすい環境を構築しているか		10	10
●意見・苦情の提出先に関する情報を公表している。(5点)			
●意見・苦情の内容を記録し、対応策を実施している。(5点)			
⑩意見・苦情等を受けて迅速に対応できる体制を構築しているか		5	10
●苦情の受付・解決方法や担当者等を明確にし職員に周知している。(5点)			
●意見・苦情への対応策の実施・公表をしている。(5点)			
(参考)	サービス改善のための具体的取組	R3実績	管理者として適宜現地に赴き、適切に管理されているかチェック。施設に関連のあるチラシやパンフレットによる情報提供及びPRを実施。町図書館協力のもと、森やアウトドアに関する本を備え付け、自然を深く学べる場を提供した。
		R4計画	R4の取組は同様に、よりよいサービス提供の向上に努めつつ、白神山地を実際に体験可能なツアーもPRする。また、県自然保護課協力のもと、当センターテラスの修繕を実施し、景観の配備に努める。
	令和4年度取組計画設定の考え方		ここにしかない施設として、自然を学び自然と触れ合える貴重な施設としての活用を目指す。また、ワーケーション施設として活用いただけるよう町内施設と他事業を連動させながら、利用促進に取り組む。

○各評価項目の評価欄には、合致する設問の合計点を記載すること。

○最上段の評価欄には、評価項目ごとの点数の平均値について次の基準により判定した評価を記載すること。ただし、0点の評価項目がある場合は、平均値が8点以上であったときでもB判定とすること。

A:8点以上 B:5点以上8点未満 C:5点未満

○「取組計画設定の考え方」には、具体的理由(例えば、利用者からどのような要望があったのか等)を記載すること。また、各施設で実施している利用者から意見を聴取するための取組(例えば、投函箱の設置や顧客満足度調査等)については全て記載すること。

3 総合評価

指定管理者 1次評価欄	(講評欄) コロナ禍の往来制限等の影響があった中、利用目標値の2倍を超える利用があり、リニューアルを図った効果を十分発揮できたと感じる。しかし、ワーケーション施設の利用が少ない現状にあるため、ここにしかない魅力や価値をPRしながら、他施設と共に相乗効果を狙えるよう利用者の増加を図りたい。引き続き、たくさんの方に利用してもらえるよう県自然保護課と連携しながら当施設の管理運営にあたりたい。
A	
所管課 2次評価欄	(講評欄) 利用者数が目標の2倍になっていること、昨年度と比較しても利用者の増加が著しいことが目に見え、リニューアル効果は絶大であったと感じる。周辺施設との連携により今後も利用者数を維持していただけるよう管理・運営に努めていただきたい。
A	

○総合評価は、「利用目標の達成状況」、「利用者満足度の状況」、「管理運営体制の状況」、「サービス向上に向けた取組の実施状況」の4つの観点の結果を用い次の基準により記載すること。

- A: 「C」判定がなく、2つ以上の観点で「A」判定の場合
- B: A、C以外の場合
- C: 各観点のいずれかの評価結果が「C」判定の場合

4 (参考) 観点 I を除いた総合評価

(参考) 指定管理者 1次評価欄	(講評欄) 満足度調査では回答数は多くないものの、リニューアルを図ったことが大きくプラスとなり、高評価を得られた。サービス向上に向けた取組では、日々の適切な管理運営に心がけると同時に、ポスターやパンフレット、チラシにより完備し周辺の情報提供に力を注いだ。展示スペースにおいては、世界遺産センターと連携して展示内容の入替を行い、展示に変化を加え訪れる人の興味が尽きないよう展開した。
A	
(参考) 所管課 2次評価欄	(講評欄) 満足度調査は昨年度に引き続き高評価を得ている。施設内の清掃は十分に行き届いていること、パンフレット等の充実、展示内容の変化で新規利用者だけでなくリピーターにも優しい運営であった。今後は、ワーケーションスペースの利用についても周知し、さらなる利用者数の向上につなげていただきたい。
A	

○令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの施設で利用者数等が減少したことから、観点 I 「利用目標の達成状況」を除き(観点 II ~ IV 「利用者満足度の状況」、「管理運営体制の状況」、「サービス向上に向けた取組の実施状況」の3つの観点をを用い)次の基準により判定した総合評価も参考として掲載する。

- A: 「C」判定がなく、2つ以上の観点で「A」判定の場合
- B: A、C以外の場合
- C: 各観点のいずれかの評価結果が「C」判定の場合